



114
A 2153



大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

千八百七十二年第一月廿九日大日本

天皇陛下ノ政府ニ於テハ大藏卿大久保利通

工部大輔伊藤博文 加利福尼バンクニ

於テハ頭取シ、オミルス支配人ウヰルリアム、

シ、ロルストン今日取結タル約定ノ覽書

日本政府ハ此書面ニ記載シタル處務并ニ請合テ

考察シタル上ニテ加利福ニバンクト約定スル條々如左

大藏省



日本政府元二千萬兩内外ノ二分判ヲ(千分中ニテ
二百分以下ノ金ヲ含ミタル二分判)日本横濱ニ於テ此
ハシク或ハ其取扱人ニ渡ス^セテ取計^トフヘシ尤モ其時限
ト數量ハ天皇陛下^ノ造幣寮ノ都合ニ任^ス又時^々
天皇陛下^ノ令ニ從^フヘシ

此二分判ハ棄方濟ニ積送リ同所ニ於テ此二分判中
ノ金ト銀トヲ分析シ再^ヒ之ヲ横濱ニ積返シテ
日本政府ニ渡シ勘定ヲ立^ヘシ此日限^ハ常^ニ二分判

ヲ積出タル日ヨリ九十日ノ内ニナスヘシ

右積返^ヲナスニ付^テノ入用損減并ニ口錢ハ下條記
載スル通りタルヘシ又其公差ハ左ノ如シ

右ノ二分判ヲ分析シテ積返ス所ノ金塊ハ十分中ニテ
九分ノ純金ヲ含ミタル本位タルヘシ尤モ微細ノ差アル
ハ造幣寮ノ規則ニテ許可スル所ノ公差ノ制限
ノ中ニアルヘシ又其差銅ハ造幣寮ノ規則并公例ニ
從^テ之ヲ加^ヘ以^テ銅貨ニ便^ナラシムヘシ

此金塊ノ量目、品位、通價ハ其塊上ニ極印ニアルシ
又此金塊ヲ製シタル原ノ二分判中ニ含ミタル金銀ノ
量目、品位、通價ハ之ヲ書面ニ認テ右ノ金塊ニ
添フヘシ

此本位金塊ノ品位ハ十分中ノ八九八ヨリ下ラス九〇
ニヨリ上ラサルヘシ若シ八九九半ヨリ下ラス九〇〇半ヨリ上ラ
サル塊ナラバ之ヲ注文通りノ金九塊ニテ即チ九百
分ノ純金ヲ含ムモノト見做ヘシ若又之ヨリ以上ノ差

アル時ハ之ヲ正シク極印ニテ明示シテ算スヘシ尤トモ
前條ニ述タル如ク八九八ト九〇ニノ制限ヲ踰ヘサルヘシ
此二分判中ニ含ム所ノ銀ハバンクニテ之ヲ買其
代トシテ本位ノ金塊ヲ差出スヘシ但シ此金塊モ都テ
前文同様タルヘシ尤モ此銀ヲ買入ルハ其割
合ハ銀ノ價百分ニ付一ノ増ヲ加フヘシ則チ二分判中
ニ含タル銀價ハ四百十二ゲイン半ノ米銀百元
ニ付本位金百〇一圓ノ割合タルヘシ

右ノ二分判并ニ本位金塊ノ運賃、諸入用、保険料
ハ加利福尼バンクノ年々之ヲ仕松ト若シ雜船ノ節ハ
保險セシメタル原高ヲ取立ルヲナスヘシ

日本政府ハ又前條ニ掲ケタル積送り并ニ積返リ
高ニ付下條ニ取極メタル高ヲバンクニ許可シテ拂テ奉
ナリトス其入用筋及ビ口錢ハ左ノ如シ

船賃 横濱積返ニ付積込タル總高ニテ片道ニ付百分
ノ五厘即チ積返ニテ百分ノ一トナル

保險 右ノ積込タル總高ニテ片道ニ付百分ノ五厘即
チ積返ニテ百分ノ一トナル

口錢 諸取扱、雜船ノ節保險セタル原高ヲ
取立ルノ積合、并ニ此書面ニ取定メタル
入用筋ノ割合ノ上ヲ取ラサル事ノ積合トシテ
バンクニ拂フヘキ口錢ニ二分判金額ハシクシテ
百分ノ五厘清取名ノ

溶解 試驗分析料 右ノ二分判ヲ溶解シタル後其全

量一トロイオンス付二錢

本位金塊製造料 金塊中ノ金分ノ通價百有十一

八分一厘五

利息 貨幣或ハ地金ノ前借是ヨリ日本政府ニテ

其令マスル所急場ノ間ニ合ハサレ氏約シタル過リ

ノ事ヲ要トスル時ニ臨ミバンクニテ立替エル事アル

節ヲ云ナリ

一ヶ月一分ノ利息前借ノ日ヨリ返済ノ日マテ算ス

加利福尼バンクハ又前文ノ如ク日本政府ヨリ得ヘキ口錢并ニ承認ラ考察シテ日本政府ト約定スル條々如左

日本政府ヨリ時々相渡スヘキ二分判バンク或ハ其取扱人等横濱ニ於テ都テ之ヲ請取ルヘシ此二分判保険料ヲ拂ヒ若雅船ノ節ニハ保険セシメタル原高最立ルヲナス可シ此二分判ヲ来方濟ニ積送り其運賃ヲ拂ヒ此二分判中ノ金ト銀トヲ分析シ其代ヲ前文ニ記載シタル如ク本位ノ金塊ニテ積返シ横濱ニ於テ日本

政府或ハ其命ヲ奉シタル人ニ渡スヘシ
此金塊ノ運賃ヲ拂ヒ保險料ヲ拂ヒ若シ雜船節
ニ保險セシメタル原高ヲ取立ルヲヨナスヘシ前文ニ掲ケル
諸入用ノ高ノ割合書面ニテ定メタル以上ヲ課スル事
ヲ請合フヘシ其餘前文ニ掲載シタル約定ノ趣ヲ其
實意ヲ以テ取行フヘキ目的期望ヲ達スル為ニ緊
要ナル諸般ノ處置ヲナスヘシ

右ノ證據トシテ日本政府ハ名代并加利福尼バンクノ

名代双方トモ今日姓名ヲ調印ス

日本特命副使大藏卿大久保利通

全 工部大輔伊藤博文

加利福尼バンク頭取ジ、オ、ミルス

全 支配人ウイ、シ、ロルトン

大
清
書